

新機能及び変更は青で表示しています。

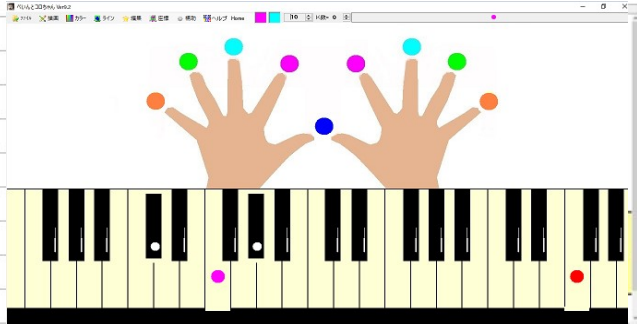
[MidiMiMiちゃん] と [ぺいんとコロちゃん] または [さわ筆] が必要です。
[MidiMiMiちゃん] はフリーソフト
[ぺいんとコロちゃん] はシェアウェアですがライセンス登録しなくても使えます。
[さわ筆] は絵手紙風イラスト作成ができるフリーソフトです。
ダウンロードはこちらからでもできます。
<http://hp.vector.co.jp/authors/VA053735/>

概要説明

- 1 [MidiMiMiちゃん] を使って音階データ等の入力及び処理
(シート[ドレミから] 内 [音符2])
- 2 [ぺいんとコロちゃん] を使ってMIDIデータを再生 ※[PGUP]でK数値を上げるとテンポが速くなります。
 - (1) 鍵盤に指位置を表示させながら演奏させる場合:ファイル／スライドショー(MIDI)
 - (2) 楽譜などの画像を表示させながら再生させる場合:ファイル／背景呼出(MIDI)
 - (3) 描画データと結合させたファイルを再生させる場合:ファイル／サイズ調整呼出(MIDI)またはスライドショー(MIDI)
 - (4) 手書き風に描画させた後に再生させる場合:ファイル／手書き風呼出(MIDI)



描画中の画面



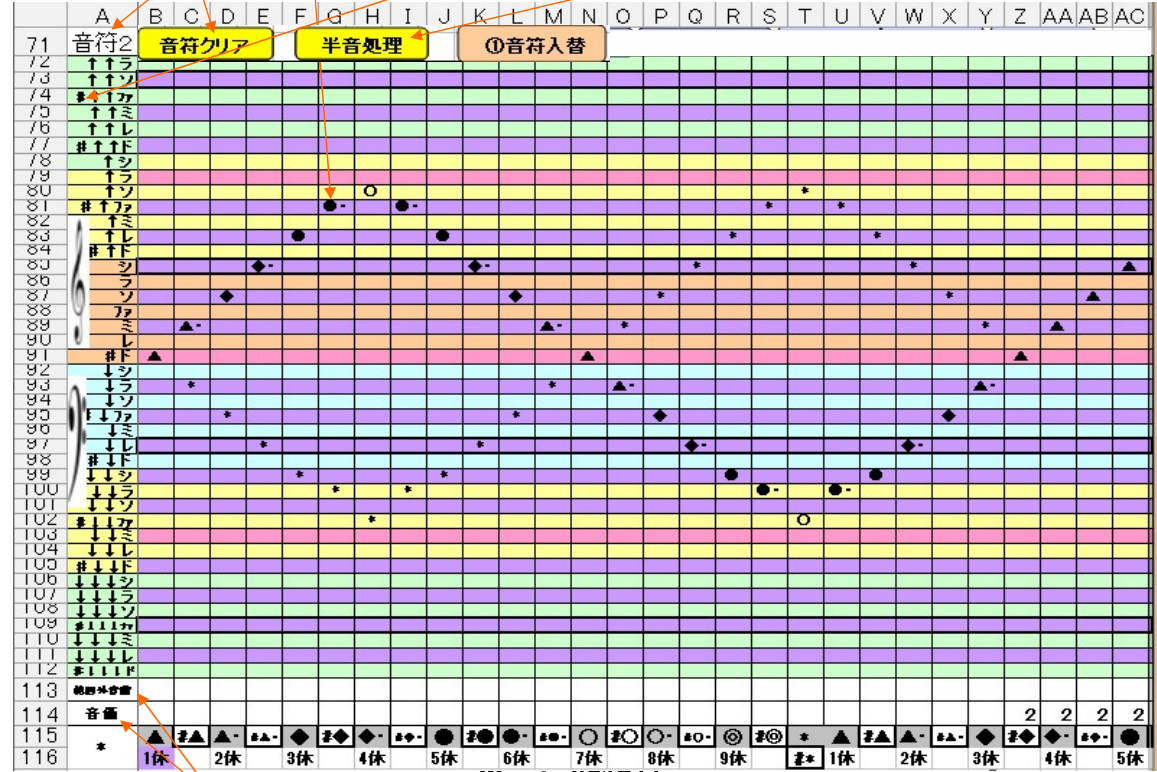
鍵盤に指位置を表示させて演奏中の画面

※ [さわ筆] は(3)(4)の項目が実行できます。

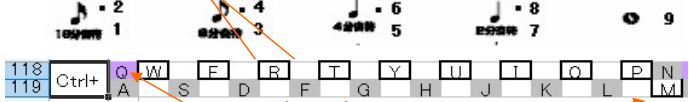
以 上

詳細説明

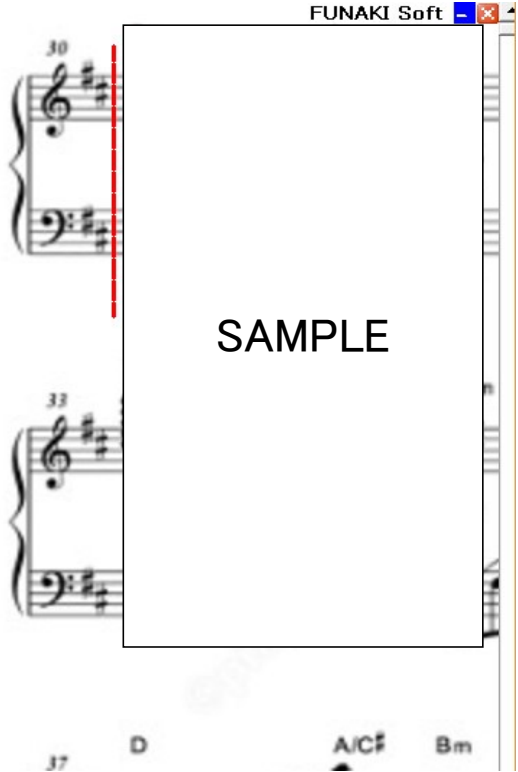
- 1 [MidiMiMiちゃん] を使って音階データ等の入力及び処理
シート[ドレミから] 内の [音符2] から始めます。
 - (1) 準 備
VBAを使用しますのでエクセルでマクロが使用できるように設定しておいて下さい。
[音符クリア]で初期化します。＃／♭があれば音階前に挿入して下さい。[半音処理]で音符前に一括挿入できます。
※ ｛は全角／半角 に対応しました。
音符入力画面と楽譜画像の画面サイズを調整して並べて表示すると入力しやすくなります。
(縦線を引くツール:LineMimiちゃん・さわ筆)



音符は数字でも入力することができます。



和音は記号(*, #)をお願いします。
初期設定では、ダブルクリックすると*が入力されます。
Ctrl+N で*, Ctrl+Mで#*が入力されます。



LineMimiちゃん

- (2) 入 力
セルを選択後 Ctrl+Q～Mで入力します。
入力終了後、[半音処理][①音符入替][②音符から音階作成][範囲外処理]
[③MIDIデータクリア][④MIDIデータ作成]を順にクリックして下さい。
- (3) データ保存
本ワークシートはブック形式で、シート[MIDIデータ作成]は、
ファイル名を変えて CSV形式で保存して下さい。
[ぺいんとコロちゃん] は、フォルダ[ペイントコロちゃん／スライドショー] に保存して下さい。
- (4) 範囲外の音程の作り方
ア シート[ドレミから][音符2] の113行目に音階、114行目に音価(長さ)を入れて下さい。
(音階はシート[鍵盤] で調べて下さい。)
イ 入力終了後、[半音処理][①音符入替][②音符から音階作成][範囲外処理]
[③MIDIデータクリア][④MIDIデータ作成]を順にクリックして下さい。
ウ 範囲外が和音1の場合が対象で、範囲外が和音2以上の場合は、直接 シート[MIDIデータ作成] の
和音部分のセル(CDEHIJの)に左詰めで入力して下さい。
シート[MIDIデータ作成] を、CSV形式で保存して下さい。

- (5) 強弱の指定
ア 音に強弱とつけたい場合はシート[ドレミから] 113行目の[範囲外／強弱] に入力して下さい。
60を基準として前後30位が妥当です。無い場合は60として処理されます。
イ 入力終了後、[①音符入替][②音符から音階作成][③MIDIデータクリア][④MIDIデータ作成]を順にクリックして下さい。

2 MIDIデータの再生

- (1) [さわ筆] を使って再生
[さわ筆] 起動後、ファイル／サイズ調整呼出(MIDI) から呼出せば再生します。繰り返す場合は左クリックして下さい。
再生テンポは、[さわ筆] 起動後、K数値をPgUpを押して上げて下さい。
- (2) [ぺいんとコロちゃん] を使って再生
ア 鍵盤に指位置を表示させながら一音づつ区切って演奏させる場合
[ペイントコロちゃん]を起動して、ファイル／スライドショー(MIDI) で呼び出して下さい。
スペースキー等をタッチすると次へと進みます。
同時にシステム音が鳴りますが、消す方法があります。
コントロールパネル／ハードウェアとサウンド／システムが出す音の変更／システム音の調整／
システム音のボリュームを下げるか、無音にして下さい。WinXPの場合は一般の警告音を[なし]に設定して下さい。
連続して演奏させる場合は、起動後に 補助／拡張設定1 を選択して行って下さい。
[PgUp／PgDn] でテンポが変わります。(演奏前後に操作して下さい)

- イ 楽譜などの画像を表示させながら再生させる場合
シート[MIDIデータ作成] の2行目の [鍵盤＋指.jpg] を画像名に変更して下さい。
画像は、フォルダ[ペイントコロちゃん／スライドショー] に保存して下さい。
[ペイントコロちゃん]を起動して、ファイル／背景継続呼出(MIDI) で呼び出して下さい。
※拡張設定5(Ctrl+5)で背景呼出(MIDI)を行った場合、画像が90度回転します。

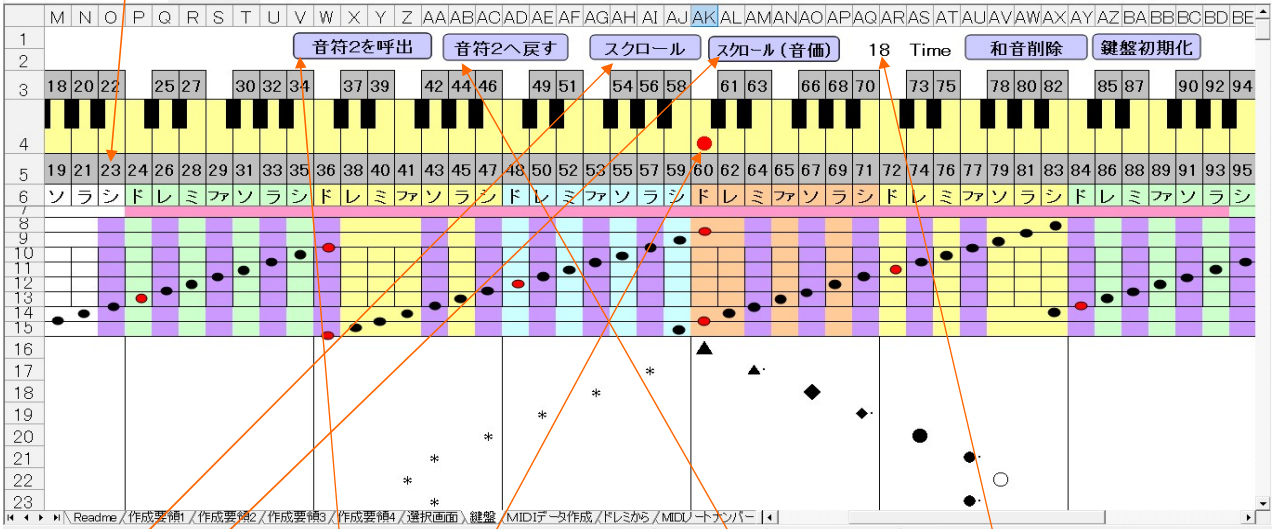
- ウ 描画データと結合させたファイルを再生する場合
ファイル／サイズ調整呼出(MIDI) または スライドショー(MIDI) で呼出して下さい。
サンプルはフォルダ[スライドショー] に添付しています。

- エ 手書き風に描画させ再生する場合
ファイル／手書き風呼出(MIDI)

- オ 楽器変更
拡張設定1(Ctrl+1)でMIDIデータを読み出した場合はメロディー用楽器とハーモニー用楽器を指定できます。
拡張設定2(Ctrl+2)でMIDIデータを読み出した場合はメロディー用楽器を指定できます。

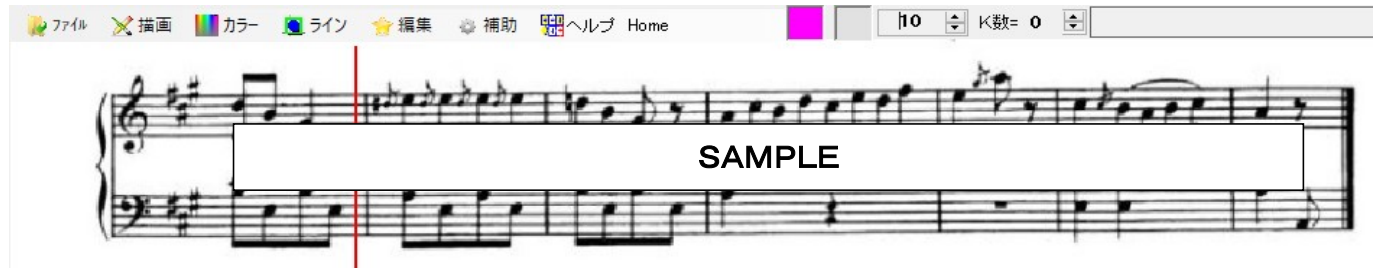
- カ メロディのみ再生
拡張設定4(Ctrl+4)後、再生

- 3 その他
鍵盤に音符を表示させて編集・スクロールさせることができます。



- (1) シート[鍵盤] の [音符2を呼出] でシート[ドレミから][音符2] を呼び出して下さい。
(2) [スクロール] を選択すると鍵盤位置を表示しながらスクロールします。Time値が大きくなるほど遅くなります。
(3) [スクロール(音価)] を選択するとTime値に音符の長さを反映させてスクロールすることができます。
(4) 編集(音符は1～9の数字、和音は*)した場合は、[音符2へ戻す] で、シート[ドレミから][音符2] に戻ります。
数字と記号の変換は [音符2] で行って下さい。
(5) [和音削除] を選択すると和音(*, ***) が削除されます。

- 4 さわ筆を使って楽譜画像に縦線を引く
さわ筆を起動後、拡張設定5で(Ctrl+5) [ファイル／チェックリスト呼出] から楽譜画像を読み出しマウスを左クリックする。



画像の拡大／縮小: Ctrl+PgUp／PgDn
画像の移動: Ctrl+カーソルキー

- 5 CSV形式のファイルから音階データを [音符2] に戻すことができます。
作業中はExcelのファイルも残しながらの作業となりますが、完成してしまうと容量が大きすぎるので削除します。
CSV形式で保存した音階データを [音符2] に戻し、再編集することが以下の要領できます。
- (1) CSVファイルをダブルクリックしExcelで開く。
(2) [MidiMimiちゃん] ／シート[MIDIデータ作成] に値複写する。
(3) 下記の処理を順に行う。
[音符作成] [音符入替] [数字を音符に変換]
(4) 再編集時の注意点
シート[ドレミから]の113・114行目のセルに数字が入っているので考慮して編集して下さい。

以 上